

特殊詐欺被害集中対策に係る第 1 回危機管理対策会議概要

日 時 : 令和 5 年 8 月 7 日 (月) 午後 5 時 25 分～6 時 15 分
場 所 : 吹田市役所 高層棟 3 階 災害対策本部会議室
出席者 : 別紙「危機管理対策会議 出席者」のとおり

議題 1 : 特殊詐欺対策に関する情報提供 (資料 1)

議題 2 : 今後の対応について (資料 2～4)

資料 1	特殊詐欺被害等に関する情報提供
資料 2	吹田市特殊詐欺集中対策本部の構成について (案)
資料 3	特殊詐欺集中対策アクションプラン (案)
資料 4	特殊詐欺集中対策スケジュール (案)

【議題 1 及び 2 について】

事務局より特殊詐欺被害の現状やこれまでの対策・取組、スケジュール等を、資料 1 及び 2 に基づき、説明。

【説明に対する質疑、意見等】

(下水道部長)

資料 1 の「令和 5 年の被害状況」を見ると、キャッシュカード詐欺盗が増えてきている。これは本人が ATM へ行くのではなく、すり替えたキャッシュカードで「出し子」がコンビニなどでお金をおろすということだと思うが、電話機の改善で防ぐことができるのか。

→警察によると、キャッシュカード詐欺盗については、ATM で対策しても手遅れになる場合があるが、きっかけとなる電話対策が有効であるとのこと。様々な手法があるが、市としても、まず詐欺手口の入口となる電話で食い止める必要があると考えている。(事務局回答)

(下水道部長)

警察署長の話をお聞きして、私は実家の親に連絡し、特殊詐欺が増えているから気をつけるように言った。職員にも同じようにするよう伝えたらどうか。

(土木部長)

会議の機会などで交わす市民との会話を通じて、吹田市は犯罪が少ないという印象をお持ちの方が多く、本市の特殊詐欺被害件数が府内でも有数の多さという特徴があまり知られていないように感じる。

直接 ATM 等に関わる部署は少ないと思うが、対策の入口が電話なら出口は啓発であり、部長から各職場に周知徹底し、色々な会議の場で発信していくことが大事である。

(会計管理者)

指定金融機関はもとより、市内の金融機関に声掛けしていく。以前、市役所内の ATM で振り込め詐欺が発生し、庁内放送で注意喚起をし始めたが、今も継続しているか。

→毎日 11 時に放送を継続中である。(総務部長回答)

(環境部長)

最近、メールや SNS で銀行を騙った怪しげなメールが来る。対策強化として、携帯キャリア等が止めてくれるなど、企業と問題意識を共有できないかと思う。

【事務局より連絡】

8 月 21 日 (月) の関係者調整会議は必要に応じて関係する部長に参加要請を行う。また、25 日 (金) に第 1 回吹田市特殊詐欺集中対策本部会議を行うので出席をお願いする。

本部長指示事項

- ・9月からモードを切り替えて「できることはなんでもやる」をキーワードに、各種団体・大学・企業も巻き込んで職員総動員で対応していく。
- ・事務局は、被害件数・被害額をできるだけ減らすため、具体的な方策、行動計画を検討すること。
- ・集中対策にあたり関係のない部署はない。各部局は想像力を働かせて具体的な戦略を「提案型」で示すこと。
- ・「注意喚起」以上の働きかけを短期集中型で行っていく。職員は、一人でも被害を減らしていくためのアクションを積極的にとること。
- ・周知、啓発に用いる「文案」を早急に作成し、庁内で共有すること。

副本部長指示事項

- ・市内には、資産がある独居の高齢者やコンビニ等の店舗が多いなど、詐欺の被害に遭う条件が揃っていると警察からも言われている。詐欺に遭う方は平時では注意しているものの、電話等で冷静さを失わせられ被害にあっている。被害を0（ゼロ）とするのは難しいが、撲滅への機運を盛り上げ各種対策を実施していく。
- ・集中対策期間では、吹田市が吹田警察や金融機関、コンビニなど市全体で特殊詐欺対策に取り組んでいることを積極的にPRすること。また、特殊詐欺の手口は日々変わっていくことから、柔軟に対策をとる必要があり、特に集中対策期間中は、吹田警察や関係機関とも十分に情報共有していくこと。
- ・特殊詐欺対策では、人海戦術も必要となる。各部局は、短期集中的に対策を実施するにあたり、兼務発令や応援職員も含め各種対応に協力すること。
- ・本市指定金融機関については、関係機関として積極的に協力してもらうよう会計室より説明を行うこと。
- ・現在、吹田警察との連携が非常に上手いっている。市と警察がタッグを組むことで、市民の安心・安全を守るための力が何倍にもなる。まずは、この特殊詐欺対策を連携の上、短期集中で全力で取り組み結果を出していく。